

ネットいじめについて

埼玉県教育委員会

最近ニュースなどでもよく耳にするようになった「ネットいじめ」。以前の「ネットいじめ」は匿名掲示板での他者に対する誹謗中傷などが主でしたが、インターネットサービスの発展により、その実態は変化しつつあります。

今回は、そうした最近の「ネットいじめ」についてお話しします。

ネットいじめの実態

では、具体的に最近の「ネットいじめ」はどんなサービスでどういったかたちでおこなわれているのでしょうか。

特に増えているのが、SNSや無料通話アプリを使ったものです。

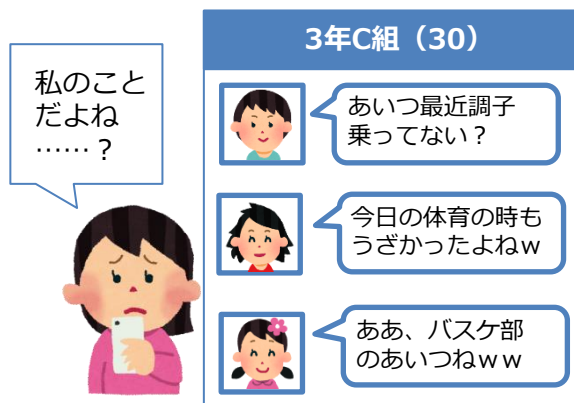
SNSでのネットいじめ

SNSで特定の生徒になりすましたアカウントを作成し、そこに同級生への誹謗中傷などを書き込んで、その生徒が学校で孤立するよう仕向ける。



無料通話アプリでのネットいじめ

無料通話アプリのグループ内で、名前を出さずにそれとなくわかるように特定の生徒の悪口を言ったり、特定の生徒が発言した場合だけ無視したりする。



このほかにも、SNSで特定の生徒の個人情報や拡散したり、無料通話アプリで特定の生徒をグループからはずしたり、特定の生徒だけを除いたグループを作ってその生徒の悪口を言ったりなどといったものがあげられます。

ネットいじめの特徴について

「ネットいじめ」の特徴としては、場所や距離、時間帯に関係なくおこなわれることがあげられます。通常はいじめとは違い、スマートフォンなどのインターネット機器があれば24時間どこからでもいじめがおこなわれる可能性があるのです。

また、外部からいじめがわかりづらいということも大きな特徴です。無料通話アプリでは、友だちになったりグループに招待されたりしなければやりとりの内容を見ることはできませんし、SNSでも外部から投稿が見られないように設定することが可能なため、外部からいじめを把握することが非常に困難なのです。

「ネットいじめ」は誰でも簡単に被害者にも加害者にもなりうるものです。子どもたちには、自分がいじめられた場合だけでなく、いじめが疑われる書き込みなどを見つけた場合にも、すぐ周りの大人たちに相談するよう指導しておくことが大切です。また、日頃から声掛けをおこない、子どもたちが変わったことがないか、様子を見守ることも必要になります。